

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2021年2月2日

事業所名: 児童デイサービス さくら稲美

サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	設置基準を満たしており、学習支援や余暇支援のいずれも手狭に感じることなく取り組んでいる	はい:19 どちらともいえない:2 わからない:1	夏休み等の長期休暇の際は、外出機会を増やし、様々な社会体験を行う 現在は活動の自粛を余儀なくされている
	2 職員の適切な配置	人員基準を満たして配置している	はい:14 どちらともいえない:1 わからない:7	現状を継続する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	構造化を続けているが、下駄箱やロッカーを利用日毎に変更する等で、構造化によるデメリットを避けている	はい:20 どちらともいえない:1 わからない:1	障害特性に配慮した情報提供を心掛けながらも、こだわりを強化することを避ける為の試みを継続する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃、教材教具の消毒を行っている	はい:20 どちらともいえない:1 わからない:1	現状を継続する
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務分担を割り振り、業務改善を進めている		現状を継続する
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない		実施について今後検討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	サービス提供と重なることが多い為、外部への研修は行っていないが、毎月職場内での研修は実施している		現状を継続する 業務に支障をきたさないよう、可能な範囲で研修受講を目指したい
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	直近の状況や職員の意見等を取り入れながら作成している	設問1より はい:19 わからない:3	現状を継続する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	実施できている	設問2より	現状を継続する
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	実施できている	はい:20 どちらともいえない:1 わからない:1	現状を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施できている	設問3より はい:19 どちらともいえない:2 わからない:1	現状を継続する
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	日常的に意見交換を行い、外出機会の拡充、行事の内容改善に努めている		現状を継続する 外出については状況を把握し、整ってからの実施を目指す
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	外出機会を失い社会活動を設ける事が出来なかったが、事業所内でお店屋を企画し買い物訓練に向けての工夫をしている	設問4より はい:14 どちらともいえない:3 わからない:5	状況を見て、以前のように工場見学や買物訓練等の社会体験の機会を増やしたいと考える それと同時に室内での工夫し調整を行う
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化することで先の見通しを立てて行動することが出来ている面もあると感じる パターンに慣れて飽きてしまわない様、季節行事等の内容充実にも力を入れて行っている		現状を継続する
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日常的に行っている その際に情報の共有も行う		現状を継続する
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎終了後に、送迎時のやり取りの内容も含めた情報共有を行っている		業務日誌を日々確認し、全ての職員が把握できるよう努める
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務日報への記録を行っている		現状を継続する
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	送迎時等の顔を合わせた際に情報の共有や確認を行っている		現状を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	必要に応じて事業所を会場としている		現状を継続する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	主に送迎時の引継ぎにて情報の共有を図っている		現状を継続する
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	今年度は該当者なし		要望や必要性が生じた場合には、情報の提供を行う
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	サービス提供時間と重なることが多い為、調整が可能な範囲での受講となっている		勤務調整をし、可能であれば研修への受講を促進する
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していない	はい:4 どちらともいえない:5 わからない:13	夏休み等の長期休暇時に児童館や科学館の利用を計画していたが、今年度は中止せざるを得なかった
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していない		地域住民の招待は難しいが、地域行事の参加は継続したい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時の説明に加え、外出時に自己負担金が発生する際には、その都度説明し同意を頂くようにしている	はい:19 どちらともいえない:3	現状を継続する
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	実施できている	はい:18 いいえ:2 わからない:2	現状を継続する
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時に様子を伝える等を行っているが、直接的な支援の実施は行えていない	はい:5 どちらともいえない:7 いいえ:6 わからない:4	今後要望があれば、悩みや相談援助を行いたい
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時、連絡ノートによるやり取りの中で、情報共有を行っている	はい:20 どちらともいえない:1 いいえ:1	現状を継続する
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	定期的な面談は設定していないが、相談等があった際は対応している	はい:8 どちらともいえない:7 いいえ:6 わからない:1	現状を継続する
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない	はい:2 どちらともいえない:2 いいえ:14 わからない:4	現状では開催の予定はない
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	可能な限りの要望に対しては対応を行い、苦情が出た際には早期解決するよう対応する	はい:12 どちらともいえない:2 わからない:8	苦情が出た際には早期に対応し、職員間での情報を共有し再発防止に努める
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	合理的配慮が必要な保護者はいらつしやらず、児童に対しては、非言語による意思疎通を試みている	はい:17 どちらともいえない:4 わからない:1	現状を継続する
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月通信を発行に加え、ホームページを活用し、行事の報告等を更新している	はい:21 わからない:1	現状を継続する
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	施錠保管し、取り扱いについては契約時に書面にて同意を頂いている	はい:19 どちらともいえない:1 わからない:2	今後も取り扱いには十分に注意し、現状を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	昨年度に作成を進めた感染症についての対応の更新を急ぎたい	はい:14 どちらともいえない:4 わからない:4	各種マニュアルについては、姉妹店と協議し作成を進める 状況に応じて随時更新を行う
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	3か月に1度、様々な場面を想定した避難訓練を実施している	はい:14 どちらともいえない:2 わからない:6	現状を継続する
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部研修への参加は行っていない 事業所内研修では、講義映像を用いた虐待防止研修を実施している		人員配置上難しいが、可能な範囲で外部への研修参加を目指したい
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現状該当者なし 言葉による指示で、別室にてクールダウンによる対応が出来ている		現状を継続する
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現状該当者なし		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内で情報を共有し、対応の検討を行っている		今後も職員間での情報共有、再発防止に努める